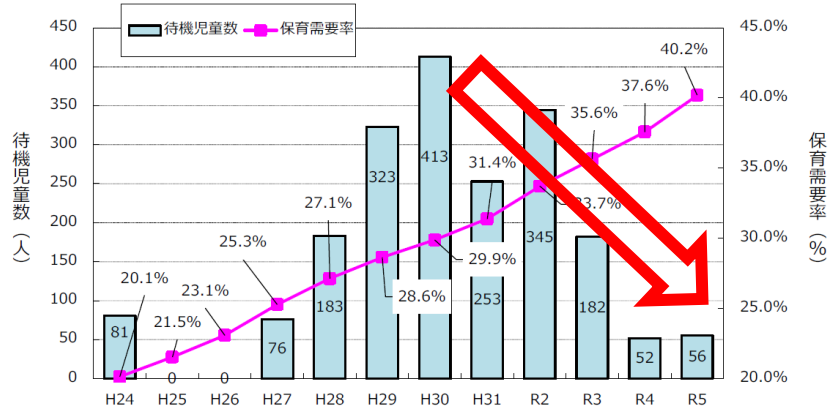


6. 保育所年齢別定員の見直し

■ 保育所待機児童の現状



待機児童数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
2022年4月	0	34	18	0	0	0	52
2023年4月	0	43	13	0	0	0	56

総数は減少傾向だが、1～2歳児では依然として待機児童が発生している

■ 定員見直しのイメージ

	見直し前							見直し後									
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計			
認可保育所A	10	15	15	20	20	20	100	5	10	10	25	25	25	100			
地域型保育事業所B	2	5	5	-	-	-	12	2	5	5	-	-	-	12			
地域型保育事業所C (新設)								2	7	10	-	-	-	19			
合計	12	20	20	20	20	20	112	9	22	25	25	25	25	131			
	40										47						

「認可保育所の年齢別定員見直し」+「地域型保育事業所の新設」をセットで行うことで、1～2歳児の受入枠拡大が可能に！

6. 保育所年齢別定員の見直し

■面積基準の検証

1人あたり面積基準	乳児室・保育室等	屋外遊技場（園庭）
0・1歳児	3.3㎡	—
2～5歳児	1.98㎡	3.3㎡

3歳児以上の受入枠を増やすには
園庭面積の確保が必要

（検証）

対象：認可保育所・幼保連携型認定こども園 計94園

方法：園庭面積の観点から「3歳児以上の受入枠を増やせる人数」を保育所ごとに算出

園庭面積÷3.3＝受入可能な2歳児以上の人数

2歳児以上の利用定員－受入可能な2歳児以上の人数＝受入枠を増やせる人数（対定員）

2歳児以上の入所児童数－受入可能な2歳児以上の人数＝受入枠を増やせる人数（対入所児童数）

（例）

園庭面積：400㎡ 2歳児以上の利用定員 80人 2歳児以上の入所児童数 90人

$400 \div 3.3 = 121.21 \dots \Rightarrow$ 受入可能な2歳児以上の人数 121人

$121 - 80 = 41 \Rightarrow$ 受入枠を増やせる人数（対定員） 41人

$121 - 90 = 31 \Rightarrow$ 受入枠を増やせる人数（対入所児童数） 31人

受入枠を増やせる人数	0人	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～100人	101人以上
対定員	8園	15園	13園	10園	11園	7園	16園	14園
対入所児童数	6園	19園	15園	6園	7園	9園	19園	13園

↑ 「面積が足りないから3歳児以上の受入枠を増やせない」という保育所はごくわずか